

## 重点努力事項と具体的実践事項の前期評価（職員）

（4段階評価 4-3-2-1）

	重点努力事項	具体的実践事項	数値等目標	前	後
心プロジェクト (あかるく)	生徒指導の充実	いじめ・不登校の未然防止と早期発見、早期対応	いじめ解消100%、欠席10日以内95%以上	3.4	3.3
		積極的な生徒指導と心の居場所のある学級づくり	保護者：喜んで登校 3.5	3.3	3.1
		日常観察の徹底と教育相談の定期的な実施	教職員：3.3	3.2	3.3
		あいさつ・返事のレベルアップ	教職員：3.3	3.1	3.0
	人権教育の着実な推進	多様性を認め合う教育による自他を大切にする児童の育成	児童：優しい言葉 3.5	3.1	3.3
		教職員の基本的認識向上と研修への参加	教職員：3.3 現地研修	3.1	3.4
	道徳科の着実な推進	道徳科の見方・考え方を働かせる授業づくり	教職員：3.3	3.1	3.2
		道徳科の評価方法の工夫改善・評価の蓄積(言葉かけ、通知表、要録への記載の共有化)	教職員：3.3	3.3	3.2
	教育環境の整備	師弟同行の無言清掃の徹底	児童：そうじ 3.5	3.2	3.4
		美化・栽培活動の充実(花いっぱい運動)	教職員：3.5	3.5	3.8
特別活動の充実	児童の主体性を伸ばす児童会活動・学級活動の充実	児童：人の役に立つ3.5 教職員：3.3	3.1	3.0	
学びプロジェクト (かしこく)	学力の充実	主体的に取り組み、自ら表現する児童の育成	教職員評価 3.3	2.7	3.2
		学力調査等の分析・活用とPDCAサイクルの確立	県学力県平均以上 NRT 成就値-4 以下 15%以下	2.7	3.2
		誰一人取り残さない個別支援の充実(朝自習、補充指導等)	教職員：3.5	3.0	3.3
		「学習の約束」の徹底等、基本的学習習慣の確立	教職員：3.3	3.0	3.0
		家庭との連携を図った家庭学習習慣の確立	保護者：3.0、児童：3.6	3.0	3.0
	特別支援教育の推進	UDの視点を意識した授業の工夫・環境整備	教職員：3.3	3.0	3.3
		合理的配慮の充実と校内支援体制の確立	教職員：3.3	3.0	3.3
	読書活動の推進	図書室の充実と並行読書等による読書量の向上	並行読書3単元以上、読書量一人120冊	3.3	3.3
	外国語科の着実な推進	専科、学習補助、ALT との確実な連携による英語が好きな児童の育成	英語が好き 90%	3.3	3.3
	体プロジェクト (たくまし)	体力の向上	体育科の授業の充実(めあて学習)と運動量の確保	教職員：3.3 50m走県基準値同等	3.0
教育活動全体を通じての体力向上の取組			保護者：3.3	3.4	3.2
安全教育の充実		避難訓練等による危険予測と回避能力の向上	教職員：3.3、交通事故 0	3.2	3.5
		防災体制・危機管理マニュアルの整備と確実な安全点検	教職員：3.3、保護者：3.3	3.4	3.5
健康教育の充実		疾病予防・感染症予防等に対する意識と実践力の向上	教職員：3.5	3.2	3.4
		生活リズムの確立と個に応じた保健指導、給食指導	歯科治療 80%、給食残菜の減少	3.3	3.3
地域連携プロジェクト	家庭との連携	保護者との積極的な連携と通信等による情報発信	保護者：3.5	3.7	3.5
	地域との連携	地域の教育力を活かし、地域に貢献する教育活動の創造(探究的な総合的な学習の時間、生活科)	保護者：3.3	3.5	3.3
	学校評価の活用と改善	学校評価と連動した業績評価と学校教育への活用・確実な改善	教職員：3.3	3.2	3.3
	幼保小中高の連携強化	幼保小中高との確実な連携(授業交流・情報交換)	教職員：3.3	2.6	3.0